

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 07 03	中期総合計画主要施策番号	3-04、4-02	担当課	部・課	健康福祉部健康長寿課	
事業名	長野県長寿社会開発センター運営事業補助金				内 線	2648	
					E-mail	kenko-choju@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H元 ~	根拠法令等	(公財)長野県長寿社会開発センター運営事業補助金交付要綱				
実施方法	(公財)長野県長寿社会開発センターへ補助金を交付					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	(公財)長野県長寿社会開発センター(以下「センター」)が実施する高齢者の生きがいと健康づくり事業を支援し、豊かで活力ある長寿社会の実現を図る。				
	対 象	(公財)長野県長寿社会開発センター				
	目指すべき姿	高齢者の生きがいと健康づくり事業を支援し、豊かで活力のある長寿社会の実現を目指す。				
	事業内容	センターが実施する次の事業及び事務局経費に対し、補助を行う。〔補助率:定額〕 ・信州ねりんピック(スポーツ交流大会、高齢者作品展、講演会等)の開催 ・全国健康福祉祭(スポーツ交流大会、文化交流大会等)への参加 ・シニア大学の運営 等				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 補助金:74,557千円((公財)長野県長寿社会開発センター)
	最終予算額 (A)		千円	101,674	74,557	72,348	
	決 算 額 (B)		千円	100,526	74,557		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	93,061	70,357	72,348	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.20	
	概算事業費 (B(H24はA)+C)		千円	102,189	76,209	74,000	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	信州ねりんピック参加者数(成)		人	2,850	3,630	2,800	
	シニア大学入学者数(活)		人	1,261	1,268	1,200	
	シニア大学生アンケートにおける満足度(成)		%	82	80	80	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> シニア大学入学者1人当たりの補助基準額		千円	26	24	4	
(効率指標 算出式) 補助基準額 / シニア大学入学者数							

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価			評価区分
	高齢者の生きがいと健康づくり事業を支援し、豊かで活力のある長寿社会の実現を図る。 ・シニア大学入学者数 1,261人 ・シニア大学生アンケート満足度 82% ・信州ねりんピック参加者数 2,850人 (いずれも前年度並み)		・シニア大学入学者数は1,268人で前年度の入学者数を上回った。 ・シニア大学生アンケートで、80%の方が概ね満足していると回答。 ・信州ねりんピックの参加者数は3,630人で前年度開催の参加者数を大幅に上回った。 以上により概ね期待どおりであった。			b 期待どおり

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・高齢化社会を迎えている中、高齢者の社会参加活動のニーズは引き続き高いと見込まれる。 ・長寿社会開発センターの自主性の強化の観点から県の関与を見直す余地がある。 ・事業の効率性の観点から地域いきいき実践塾とシニア大学の統合などの事業改善の余地がある。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・シニア大学運営事業と地域いきいき実践塾運営事業を統合し、受益者負担等の観点から、シニア大学の講座の講師料・会場使用料等は全額学生の授業料で賄う。 ・シニア大学の統一プログラム作成等を行う「シニア大学運営委員会」を新たに設置し、社会参加の重要性や具体的な活動方法などを学ぶカリキュラムを充実させる。 ・卒業生に対して地域のボランティアセンター等への人材登録を勧奨するとともに、随時、卒業生の活動状況を確認し、必要な情報提供等を行う。 ・活動成果発表会を開催し、大学生のモチベーションを高めるとともに、シニア大学を広く県民にPRする。				
	特記事項	平成23年度信州型事業仕分け実施				